

水への意識

Q.水への関心度は？（6択）

Q.水は大切だと思うか？（6択）

Q.水のありがたさを感じているか？（6択）

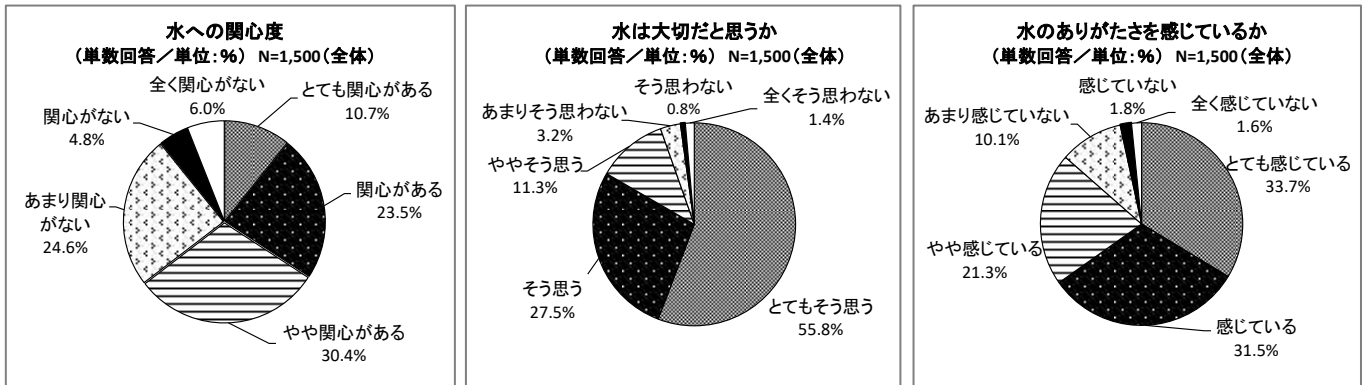
◇水への意識は、大切さ>ありがたさ>関心。

まず、水にどの程度関心があるか聞いたところ、「とても関心がある」10.7%、「関心がある」23.5%、「やや関心がある」30.4%となり、これらを合計した“関心あり層”は64.6%でした。

次に、水は大切だと思うかをたずねたところ、「とてもそう思う」（55.8%）が半数を超え、「そう思う」（27.5%）、「ややそう思う」（11.3%）を合わせた“大切だと思っている人”は、全体の94.6%を占めました。

また、水のありがたさを日々の生活で感じているかについては、「とても感じている」（33.7%）、「感じている」（31.5%）、「やや感じている」（21.3%）を合計した“ありがたさを感じている人”が86.5%でした。

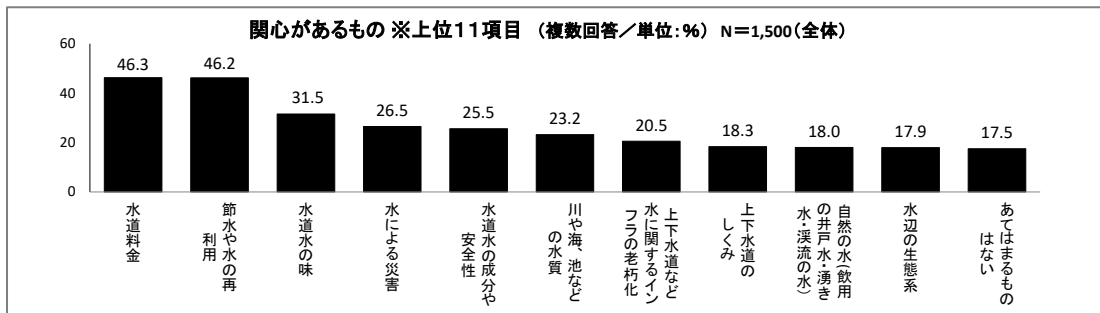
これらの結果を見比べると、大切さは大多数の人が認識しているものの、「ありがたさ」という感謝の気持ちになると若干減少、関心がある人はさらに少なくなり、“大切さ>ありがたさ>関心”といった傾向がみられました。



Q.水について関心がある事柄は？（29択+その他+あてはまるものはない）

◇「水道料金」と「節水や水の再利用」が2大関心事。

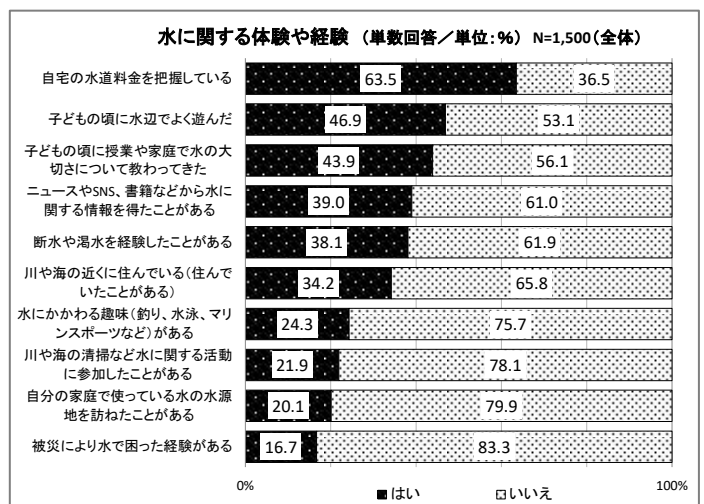
水に関するさまざまな事柄を選択肢にあげ、関心があることを選んでもらったところ、1位「水道料金」（46.3%）、2位「節水や水の再利用」（46.2%）が、ともに4割を超える2大関心事となり、以下は3位「水道水の味」（31.5%）、4位「水による災害」（26.5%）、5位「水道水の成分や安全性」（25.5%）と続きました。



Q.水に関する体験や経験の有無は？（それぞれ2択）

◇「水辺でよく遊んだ」「水の大切さを教わった」が4割台。

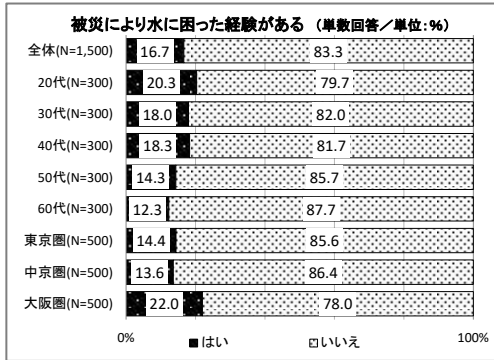
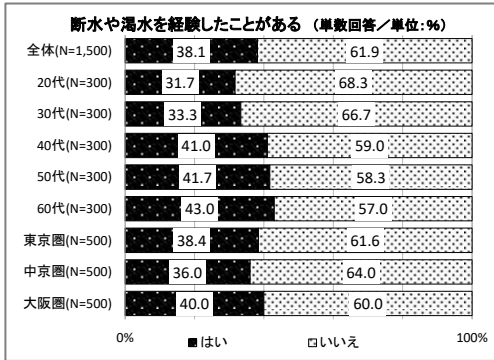
水にまつわる体験や経験に関する項目について、それぞれの体験・経験有無をたずねたところ、「はい」が最も多かったのは、「自宅の水道料金を把握している」（63.5%）で、「子どもの頃に水辺でよく遊んだ」（46.9%）や「子どもの頃に授業や家庭で水の大切さについて教わってきた」（43.9%）が4割台、「川や海の清掃など水に関する活動に参加したことがある」（21.9%）や「自分の家庭で使っている水の源地を訪ねたことがある」（20.1%）は2割程度でした。また、「断水や渇水を経験したことがある」人は38.1%、「被災により水で困った経験がある」人は16.7%となりました。



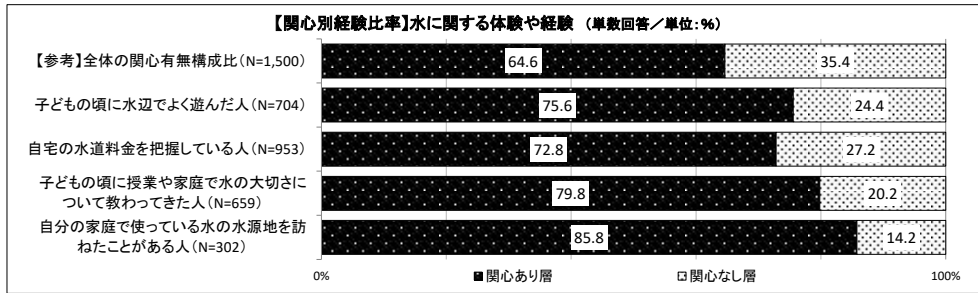
【水体験】

自宅の水道料金を把握していると答えた方が6割を超えた以外、水に関する体験、経験は半数を超えてはいない。しかし、断水や渴水を経験したことがある方が4割近くいる、というのは驚きである。20代30代で3割、40代以上で4割あまりと、年代による差はあまりなく、東京圏(38.4%)、中京圏(36.0%)、大阪圏(40.0%)の間でも大きな差は認められないため、特定の災害時の経験によるとも考えにくい。集合住宅では自然災害でなくとも停電、しかも点検など計画的な停電でも断水が生じ得るため、そうした際の経験が回答に反映されているのかもしれない。

一方で、被災により水で困った経験がある方も全体の1/6に達しており、こちらは東京圏(14.4%)や中京圏(13.6%)に比べて大阪圏(22.0%)が有意に高く、阪神淡路大震災の影響が思い浮かぶが、年代別には20代のみ20%を超えていて、60代では12%あまりとむしろ少なくなっており、2011年の東北地方太平洋沖地震による東日本大震災や2018年の大阪北部地震の記憶なのかもしれない。



子供の頃に水辺でよく遊んだ、あるいは、自宅の水道料金を把握していると回答された方では7割超、子供の頃に授業や家庭で水の大切さについて教わってきた方では8割弱、自分の家庭で使っている水の水源地を訪ねたことがあるでは8割超の方が水への関心がある層となっており、これらの間の相関関係が高いことがうかがえる。



Q.水に関する考え方への共感度は？(それぞれ6択+どちらともいえない)

◇水道水をそのまま飲むことへの幸福感や、水を出しっぱなしにすることへの罪悪感に、7割超が共感。

水に関する考え方への共感度を探るべく、いくつかの事柄をあげた上で、それぞれどう思うかを7択(とてもそう思う/そう思う/ややそう思う/どちらともいえない/あまりそう思わない/そう思わない/全くそう思わない)でたずねたところ、「水道水をそのまま飲むことに幸せを感じる」(72.9%)や「水を出しっぱなしにしていることに罪悪感がある」(75.8%)といった水への価値観を問う項目は、「共感する人」(「とてもそう思う」「そう思う」「ややそう思う」の合計)が多かった一方で、「水辺に行ったり、自然の川や海で泳いだりするのが好きだ」(39.7%)、「近くの川や池、海などの清掃活動に積極的に参加したい」(34.5%)、「自分の家庭で使う水の水源地や排水先を知っておきたい」(41.6%)などの行動を伴う項目は、3~4割台という結果でした。

